



平成28年2月10日  
国土交通省中部地方整備局  
名古屋港湾事務所

## 港の仕事について学ぶ

### ～名古屋市内の中学生14名が職場訪問～

平成28年2月4日(木)、名古屋市立千種台中学校の1年生14名が名古屋港湾事務所に職場訪問し、港の役割や名古屋港の整備を行っている名古屋港湾事務所の仕事について学習しました。



【目的】 今回の職場訪問は、将来の進路を考える上で、港の仕事について、実際に職員より話を聞くことや、職場の様子を見学することにより、仕事のやりがいや魅力について学ぶことを目的に行ったもの。

【行程】 生徒達は、名古屋港湾事務所に集合し、職員より港湾の役割について説明を受けた後2つのグループに分かれて、海洋環境整備船「白龍」のゴミ回収作業のデモンストレーションを見学するとともに、船上より名古屋港内を見学した。

「白龍」では、船長より業務内容や、操舵室など船内設備の説明を受け、その後、ゴミをすくい取るスキッパーや多関節クレーンの操作、流木の切断などを見学。

また、名古屋港内見学では、港湾業務艇「翔龍」に乗船し、コンテナターミナルや完成自動車の輸出状況などを見学。

■配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

#### ■問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

企画調整課 板生(いたお) TEL 052-651-6763 FAX 052-652-0303



## 【生徒の感想など】

生徒達は、「名古屋港湾事務所の職員として心がけていることはありますか。」、「仕事のやりがいは何ですか。」、「船で作業をしていると、危険なこともたくさんあると思いますが、どのように対処しているのですか。」など熱心に質問をしていた。

また、「名古屋港はあまり綺麗な海ではないと思っていたが、今日見学して綺麗な事にビックリした。」、「翔龍に乗って感じる海風は気持ちよかった。」、「白龍が、海のごみを回収する様子や回収した木を切る様子を見る事ができて良かった。」と話していた。

## 【海洋環境整備船「白龍」とは】

海洋環境整備船「白龍」は、航行船舶の安全性の確保と海洋環境保全のため、伊勢湾及び三河湾の一般海域(約 1,800km<sup>2</sup>)の漂流物の回収を行うと共に、油流出事故など災害発生時の油回収等を行う船舶。(詳細は別紙参照)

## 【写真】



海洋環境整備船「白龍」見学の様子



翔龍による港内見学の様子



海洋環境整備船「白龍」見学の様子



翔龍による港内見学の様子



# 海洋環境整備船 「白龍」の概要

## 「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面浮遊ゴミの回収作業
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施。
- 大規模地震・津波発生時の航路啓開。



**担務海域**  
伊勢湾・三河湾 (1,800km<sup>2</sup>)



諸元  
全長 33.5m  
全幅 11.6m  
総トン数198t

中部地方整備局 名古屋港湾事務所 所属



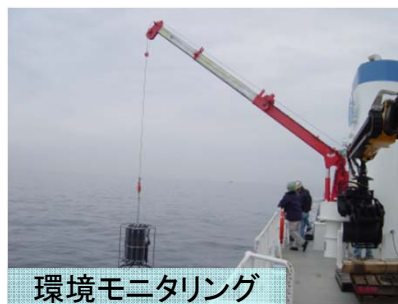
ゴミ回収状況



ゴミ回収状況



油回収装置



環境モニタリング



回収ゴミの陸揚げ

## 東日本大震災における災害 支援(海上漂流物の除去) (平成23年4月23日～5月19日)

○海上物流拠点の仙台塩釜港及び石巻港を有する仙台湾周辺海域において、航行船舶の安全を図るため津波により発生した大量の漂流物を回収。

○漂流物回収量【239.1m<sup>3</sup>】